



Yumi Michikata & Moto Michikata

Dear Michi,

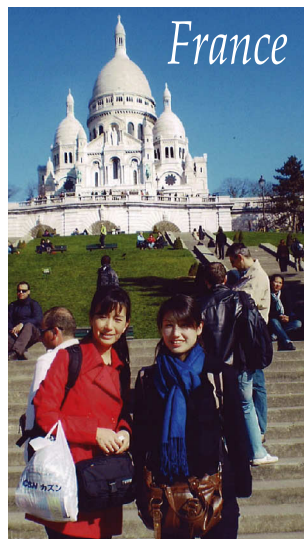
三月下旬にもっちゃんのプロジェクトのヒマな時期を狙って渡英して参りました。で、同じ行ならちよっと近隣のヨーロッパにも寄りたいわ、と言う私のリクエストでフランスへも寄りました。娘は公私共にヨーロッパ諸国を度々訪問してまして、当地も4回訪れているのでガイドはまかせて!! と頼もしい言葉通り素晴らしいガイドぶりを発揮してくれて、僅か3日間の滞在でしたが、わりとくまなく観光&美術館巡り&バルサイユ、と思いきり楽しんできました。

そして、ロンドンではmainは娘のoffice訪問!!ボスや同僚とマー皆さんさすがサイエニスト!って感じの方達ばかりで又々ハートがあったかく私を歓迎して下さい、素晴らしい環境の中で自分のやりたい仕事ができるもっちゃんは何て幸福なんだろう!とつくづく思い大変安心致しました。そして、たった一人で異国の地でよくここまで築き上げたな…と感服致しました。

あとロンドンではミュージカル&バレエを観たり旧知の人達と再会したりとあつという間に過ぎました。因に、ミュージカルのチケットは観劇大好きな私達の為に娘のオフィスのMarkが彼女のバースデープレゼントとして2枚下さった物です。

話しは前後しますが、私はまずUK入りして翌日からフランスへ行ったのですがその手配は娘が全部やってくれてその諸々の費用は立て替えてもらってましたので、まずUKに着いた日に「いくらだった?」と聞きました所、娘が「それはいいよ、いらぬ」と言いましたので私が「そうはいかないわ。ママの分は払うわ」と言った所「今迄、ママにはお世話になったからこれはもっちゃんからのプレゼントだよ」と言われて、もー。私はその気持ちが何より嬉しくてジーン!!ときて涙が溢れてきました。前にもこのセリフは言ったかもしれませんが「ママは世界一幸福なママだわ!!」と又々言っ てしまいました。

最後にちよっとおもしろい話がございまして娘はオフィスで「It」で呼ばれるそうです。彼女の大学院時代の友人のウエディングの写真を見ている時「私はウエディングドレスは全々興味ない、それより宇宙飛行士の服が着たい!」と言った彼女の個性を表した呼び名が「It」なのかな…と、ちよっと笑ってしまった私でした。



France



☆娘のMotoとボスのDavid



「イギリスで学んだこと」 女子聖学院中学校3年 斧原華子

「高い…!」これが私のイギリスの物価に 対して最初に持った印象だった。私は2008 年の7月、初めての海外一人旅を経験した。イギリスのロンドン近郊で行われているサマースクールに参加したのだ。そこでは、週に2日寮を出て、観光やショッピングをするという催しがあった。楽しみにしていた買い物だ。とりあえず店に入ってみるものの、どれも高く 買って買物が出来ない。日本とは違う物価の高さに驚きすっかり気が小さくなってしまった。これが普通なのか、それとも、たまたま入ったこの店だけが高いのか…分らぬままにひたすら歩いて、やっと馴染み深い店を発見した。日本でもよく利用しているマクドナルドだ。国内では見かけない日は無いと言ってもいい程のメジャーな店、旅行先でも食べ物に困った時には心強い味方のファストフードの店である。欲しい物も買えずに、日々節約に節約を重ねていた私にとっては、身も心もふと ころも安心できる店との感激の再会だったと言えよう。「きっと安いに違いない。」とこう確信し、中に入ったのだが、そうではなかった。安いどころか高かったのだ。呼び名は「マクドナルド」ではもったいない。「マクドナルド レストラン」と呼びたい気分だった。すっかり 気落ちしてしまい、私は財布の紐をさらにきつく締めることとなった。日本でも売っている物と同じ商品を買うのに、こんなに価格差があることに気づき、とても損をした気持ち になった。帰国後、私は、なぜこのように世界と日本では価格差が生まれるのだろうかという疑問に思い詳しく調べることにした。

英国誌「エコノミスト」は毎年、世界中で売られているビックマックの値段を購買力平価で比較した指数を発表している。これは「ビ

ックマック指数」とよばれている。こんな言葉があるとは驚きである。なぜビックマックなのか? それは、ほぼ全世界で同じ材料を使って作られているため比較しやすいのだという。この指数を参考にして、円高・円安を判断したり、旅行先の物価をイメージする人もいることを知り、益々興味を湧いてきた。日本マクドナルド社に「なぜ各国で価格が違うのか、どのようにして決定しているのか。」問い合わせしてみた。価格は各国のマクドナルド社が決めていて、国によって原材料費が違うために差がでているとの返事であった。さらに、原材料費の他に、店の光熱費、店員の労働賃金を元にして単価が決められていることもわかったが、理由はこれだけではない。世界で売られているビックマックを円で換算すると、安い順に①中国196円②日本280円③韓国338円④アメリカ385円⑤イギリス493円⑥スイス685円⑦ノルウェー851円、なんとノルウェーでは日本の3個分だ。イギリスで気落ちしている場合ではなくなった。このように、欧州各国は過大評価され、アジア各国はかなり過少評価されていることがわかる。そのため欧州からみると、日本の物価は安く感じる。逆に日本からみた場合、欧州の物価は高く感じるのである。

この夏、お金の件で気が小さくなっただけでなく良いこともあった。気が強くなったのだ。私のルームメイトを始め、外国の友人は皆化粧をしていた。そこで私もマスカラが欲しくなった。一大決心をして買いに出た。6ポンドのマスカラがセールで4ポンドに値下がりしていた。それが決め手となりついに私は買うことにした。買い終わり、ほっとしてレシートを見ると、なんと安くってなかったのだ。言



☆斧原華子



☆斧原華子

☆斧原華子

葉は通じず、助けてくれる人もなく一人で迷った。たった2ポンドと考え泣き寝入りするか、2ポンドだけ抗議して返してもらおうべきか。私は勇気をふりしり抗議を選んだ。両親や祖父母からももらった大切なお金だからだ。必死で知る限りの英語を駆使して、店員さんに抗議した。その結果、しっかり返してもらった。ほっとしたと同時に、いったい自分のどこにこんな勇気があったのかと不思議だった。しかし、この出来事で私はお金の大切さを改めて感じたのだ。

日本で暮らしている時は、欲しいものがあるればコンビニで何でも容易に手に入る。そこ

まで高いと感じたことはないし、今考えればつい色々買ってしまい、無駄にお金を使っていたかもしれない。また、近所のスーパーでは、レシート一つでもミスがあった場合、全額を返金してくれる。今までミスがあったという話は聞いたことがない。このような環境で生まれ育った私にとって、イギリスの物価の高さやレジのミスは、かなりの衝撃であったし大変勉強になった。

私は将来、海外で暮らしたいと考えている。少々の事で動揺しないためにも、今からしっかりと世界の経済について学んで、再び国際便に乗り海を渡りたい。



第58回全国小・中学校作文コンクールにて受賞



Congratulations!!

- * 川島良尚 ニュージランドLBC高校入学
- * 飯島拓也 ニュージランドLBC高校入学
- * 土屋なつき ニュージランドLBC高校入学
- * 坂上千秋 ニュージランドビクトリア大学入学
- * 斧原華子 読売新聞社・文科省の作文コンクールで佳作受賞
イギリスST.Bede's寄宿高校入学許可
- * 酒井 亮 IELTS6.0獲得
- * 金子裕治 創造学園大学卒業、浦和神経病院就職
- * 小松山聡子 エプソン絵画賞受賞
- * 中島リエ 関東国際高校入学
- * 千尋コガード JTB地球の歩き方・イギリス庭園特集記事発表
- * 依田龍介 イギリスICS入学